

# Perplexity Patents 総合評価レポート：特許調査の「民主化」がもたらす革新性と、専門実務における重大なリスク分析

Gemini

## セクション 1：AI 特許検索の新時代：Perplexity Patents の市場投入とその戦略的意義

Perplexity Patents の登場は、知的財産（IP）調査の分野において、アクセス性の観点から一つの転換点を示す可能性があります。このツールを評価するためには、まず従来の特許調査が直面していた構造的な障壁を理解する必要があります。

### 従来の特許調査の障壁

これまで、本格的な特許調査は、高い専門性、コスト、そして時間的制約という 3 つの大きな壁に阻まれてきました。

1. **専門知識への依存**：従来の調査プロセスは、Google Patents、米国特許商標庁（USPTO）、世界知的所有権機関（WIPO）などのデータベースを横断的に使用する必要がありました<sup>1</sup>。これらのツールを効果的に使用するには、特定のキーワードの組み合わせ、ブーリアン演算子、さらには難解な特許分類コード（例：CPC、IPC）の知識が不可欠であり<sup>1</sup>、事実上、弁理士や専門調査員以外の手には余る作業でした。
2. **高額な専門プラットフォーム**：一方で、より高度な分析機能を提供するプロフェッショナル向けプラットフォーム（例：Derwent、PatSnap）は存在しますが、これらは非常に高額なライセンス費用を必要とし<sup>3</sup>、十分な予算を持つ大企業の知財部や法律事務所にその利用が限定されていました。
3. **限定的な無料ツール**：Google Patents などの無料ツールはアクセス性に優れるものの、

機能が限定的であり、特に非特許文献（NPL）とのシームレスな連携や、概念的な類似性に基づく検索には限界がありました<sup>3</sup>。

## Perplexity Patents の戦略的ポジショニング

Perplexity は、これらの障壁を AI 技術によって打破することを目的としています。

- 「AI 特許リサーチエージェント」という定義：Perplexity は本ツールを、単なる「検索エンジン」ではなく、「世界初の AI 特許リサーチエージェント」と定義しています<sup>2</sup>。これは、ユーザーの曖昧な指示（自然言語クエリ）を理解し、自律的に調査タスクを計画・実行する「エージェント」としての能力を強調するものです。
- 「IP インテリジェンスの民主化」というビジョン：本ツールの核心的なビジョンは、「IP インテリジェンスの民主化（democratize intellectual property intelligence）」<sup>1</sup>にあります。高価なツールや専門知識の壁によって、これまで IP 情報の活用から「傍観者（on the sidelines）」<sup>3</sup>となっていた層、すなわち個人の発明家、エンジニア、研究者、そしてスタートアップ創業者を主要なターゲットとして設定しています<sup>6</sup>。

この戦略は、R&D の初期段階において、エンジニアや研究者が（従来は知財部や外部の弁理士に依頼していた）先行技術調査の初期段階を、自らの手で直接実行できるようにすることを可能にします<sup>2</sup>。

## 戦略的意義の分析

Perplexity の市場参入戦略は、既存の専門家市場で正面から競合するものではありません。Clarivate<sup>14</sup>や PatSnap<sup>15</sup>のような高機能・高価格のプラットフォームの代替を目指すのではなく、むしろこれまで特許調査を十分に行ってこなかった、あるいは Google Patents<sup>1</sup>で不十分な検索しか行えなかった「未開拓市場」をターゲットにしています。これは、専門家向けの高価格なソリューションを必要としない層に対し、「十分な（Good Enough）」ソリューションを圧倒的なアクセス性で提供することにより、新たな市場を創出する典型的な「下方からの破壊（Disrupt from Below）」戦略と分析できます。

しかし、この「民主化」は重大なリスクを内包します。本ツールの最大の強みである「使いやすさ」<sup>16</sup>が、ユーザーに専門的な調査が完了したかのような「専門知識の幻想」を与えかねません。特許調査は、単に関連文献を見つけること以上の、クレーム（特許請求の範囲）の解釈

や、新規性・進歩性の法的判断といった高度な専門知識を要求します。Perplexity Patents が「明確な回答」<sup>1</sup>を提供することで、非専門家のユーザーが「これで侵害予防調査（FTO）は完了した」<sup>4</sup>という誤った安心感を抱く危険性があります。ツールの民主化は、専門知識の民主化を意味しないという点は、強く認識されるべきです。

## セクション 2：市場の評判（Hyouban）分析：技術メディアとアーリーアダプターの二極化

Perplexity Patents のリリースに対する「評判」は、評価者の専門性によって明確に二極化しています。

### 技術メディアによる好意的な報道

PCMag、ZDNET、Medium などの主要な技術系メディアは、Perplexity Patents の登場を非常に好意的に報じています<sup>1</sup>。これらの報道における評価のポイントは、主に以下の 3 点に集中しています。

1. 自然言語によるアクセシビリティ：専門的な「キーワードやコードが不要」<sup>1</sup>であり、誰でも簡単に利用できる点が賞賛されています。
2. 調査プロセスの高速化：特許調査を「退屈な作業でなくす」<sup>16</sup>、「プロセスを迅速化する」<sup>1</sup>といった、ユーザー体験（UX）の劇的な改善が評価されています。
3. 革新的なアプローチ：IP インテリジェンスへのアクセスを根本から変える「革命的」なツール<sup>2</sup>として、そのポテンシャルが高く評価されています。

### ユーザーコミュニティ（Reddit）の反応：期待と深刻な懸念

一方、r/perplexity\_ai や、より専門性の高い r/Patents といったユーザーコミュニティ（Reddit）での反応は、期待と深刻な懸念が入り混じる、より複雑なものとなっています。

- 肯定的な評価：一部のユーザーは、このツールがイノベーションへのアクセス性を高める「ゲームチェンジングな動き」<sup>6</sup>であると評価しています。特に、弁理士による本格的な

レビューの前に、「コストと時間を削減できる」予備調査ツール<sup>6</sup>としての価値を認める声があります。

- **批判的な懸念（リスクの指摘）**：しかし、肯定的な評価以上に、専門的な観点からの鋭いリスク指摘が目立ちます。
  1. **機密保持（Confidentiality）**：最も即座に、かつ最も多く提起された懸念は、「未公開の発明アイデア」を検索クエリとして入力した場合のデータ取り扱いです<sup>6</sup>。
  2. **パテント・トロリングの助長**：このツールが、他者のアイデアを先取りして仮出願（わずか\$65 で可能<sup>6</sup>）を行うような、悪意ある「パテント・トロール」を「スーパーチャージ」する（超強化する）のではないかという懸念が示されています<sup>6</sup>。
  3. **フロントランニングのリスク**：特に深刻な指摘は、「ドメイン名フロントランニング」<sup>6</sup>との類推です。これは、検索クエリの内容が傍受され、検索者自身が登録する前に第三者にドメインを先取り登録されてしまう問題です。ユーザーは、Perplexity 自体が悪意を持つこと<sup>6</sup>だけでなく、Perplexity の AI エージェントがアクセスする「ウェブの漏洩性（leakiness of the web）」<sup>6</sup>に起因する、第三者によるアイデアの窃取リスクを懸念しています。
  4. **精度の懐疑論**：ベータ版としての機能的な限界を指摘する声もあり、「少し試したが、今のところかなりベーシックに見える」<sup>18</sup>といった冷静な評価も下されています。

## 評判の二極化に関する分析

この技術メディアと専門家コミュニティとの間の反応の差は、「評判」がターゲット層によって全く異なることを示す「専門知識－期待ギャップ」を浮き彫りにしています。

技術メディアは、Perplexity Patents を「コンシューマー向け AI 製品」として捉え、その UX と利便性を評価しています<sup>16</sup>。対照的に、Reddit の専門的ユーザーは、これを「プロフェッショナル向けリーガルテック製品」として捉え、その「法的・セキュリティ的適格性」を即座に問い質しています<sup>6</sup>。

特に「フロントランニング」<sup>6</sup>の懸念は、単に「Perplexity がデータを悪用しないか」というレベル 1 のリスク（これはデータポリシーの問題<sup>20</sup>）を超えています。ユーザーが指摘しているのは、「Perplexity の AI エージェントが、非特許文献（NPL）を検索するために（意図せず）外部の悪意ある『偽エージェント』<sup>6</sup>に機密クエリを送信してしまう」という、システムアーキテクチャに起因するレベル 2 の漏洩リスクです。Perplexity が善意であっても回避が困難なこの構造的リスクを、専門ユーザーはいち早く見抜いていると言えます。

## セクション 3：中核技術の機能評価：自然言語処理、セマンティック検索、AI エージェント

Perplexity Patents の評判を支える中核技術は、従来の検索ツールとは一線を画す、3 つの主要な機能要素に分解できます。

### 自然言語による対話型インターフェース

最大のユーザーメリットは、専門的な検索構文（キーワード、ブーリアン演算子、特許分類コード）の知識を一切不要にした点です<sup>1</sup>。

- **自然言語クエリ（NLQ）**：ユーザーは、「言語学習のための AI に関する特許はあるか？」<sup>1</sup>や「2024 年以降の主要な量子コンピューティング特許」<sup>1</sup>といった、日常的な言葉で質問するだけで調査を開始できます。
- **文脈の維持と対話**：システムは一連の対話の文脈を維持するため、ユーザーは検索結果を見ながら「最初からやり直すことなく」フォローアップの質問を重ね、調査を深掘りしていくことが可能です<sup>1</sup>。

### セマンティック検索（概念的類似性）の優位性

本ツールの技術的な核心は、厳密なキーワード一致（rigid keyword matching）<sup>3</sup>に依存する従来型検索の限界を超える能力にあります。

Perplexity が公式ブログやメディアブリーフィングで繰り返し強調する事例は、「フィットネストラッカー（fitness trackers）」の検索です<sup>3</sup>。従来の検索では、この正確な文字列を含まない文献は見逃される可能性があります。しかし Perplexity Patents は、AI が概念的な類似性を理解するため、同じ発明を指す可能性のある異なる用語、例えば「アクティビティバンド（activity bands）」、「歩数カウントウォッチ（step-counting watches）」、「健康モニタリングウェアラブル（health monitoring wearables）」<sup>16</sup>を自動的に含めて検索結果を提示します。

## AI エージェントシステム (Agentic Research System )

この高度なセマンティック検索と対話型インターフェースを実現しているのが、「エージェントベース」のシステム<sup>23</sup>または「エージェント型リサーチシステム (agentic research system)」<sup>3</sup>と呼ばれるバックエンドアーキテクチャです。

この AI エージェントは、ユーザーからの複雑で曖昧な自然言語クエリを受け取ると、それを実行可能な複数の具体的な「情報検索タスク」に内部的に分解 (deconstruct) します<sup>3</sup>。そして、それらのタスクを Perplexity が独自にホストする大規模な「特許知識インデックス」<sup>1</sup>に対して実行し、得られた結果を統合・分析して、最終的な回答をユーザーに生成します。

### 技術的優位性の実務的評価

この AI エージェントシステムは、UX を劇的に向上させる一方で、専門的な特許調査に不可欠な「透明性」と「再現性」という観点からは重大な問題を抱えています。

ユーザーは「フィットネストラッカー」と入力するだけであり、AI エージェントが裏側で「アクティビティバンド」というクエリを追加したのか、変換したのか、あるいはそれらをどのようなブーリアンロジックで組み合わせたのかを一切制御できず、その実行プロセスを監査 (audit) することもできません。

専門家による特許調査、特に侵害予防 (FTO) や無効化 (Invalidation) のための調査では、調査の「範囲」と「実行された全クエリ」を正確に記録し、その調査の網羅性を（時には法廷で）証明する責任 (デューデリジェンス) が伴います。Perplexity の「ブラックボックス」<sup>3</sup>な性質は、この専門的要件と根本的に矛盾します。

結論として、Perplexity Patents は、R&D の初期段階における「アイデアの発見 (Discovery)」や「技術動向の把握 (Landscaping)」<sup>13</sup>には非常に強力なツールです。キーワード検索では見逃していたかもしれない関連文献を「発見する」<sup>3</sup>ことには長けています。しかし、特許の「無効性 (Invalidity)」<sup>26</sup>や「特許性 (Patentability)」<sup>27</sup>を証明するために、「調査範囲内にはもはや関連する先行技術が存在しない」ということを網羅的に示す (悪魔の証明) ためのツールとしては、現時点では不向きであると言わざるを得ません。

## セクション 4 : 先行技術調査 (Prior Art Search ) のカバ

# レッジ分析

Perplexity Patents の最も革新的な側面は、その検索対象の「範囲」にあります。

## 最大の革新性：非特許文献（NPL）の統合

従来の特許調査ツールが特許データベース（Patent Literature: PL）の検索に特化していたのに対し、Perplexity Patents は、広範な非特許文献（Non-Patent Literature: NPL）をシームレスに横断検索する能力を標準搭載しています<sup>2</sup>。

Perplexity は公式に、「真のイノベーションは単一の箱（＝特許 DB）に収まらない」<sup>3</sup>と述べ、特許が出願されるよりも前に、「新しいアイデアやブレークスルーが最初に登場する場所」<sup>3</sup>こそを検索すべきであると強調しています。

## NPL の具体的な検索範囲

公表されている情報から特定される NPL の検索対象は、以下の通り多岐にわたります。

- **学術・研究文献**：学術論文（Academic journals）、および arXiv のようなプレプリントリポジトリ<sup>2</sup>。
- **ソフトウェア関連**：GitHub などの公開ソフトウェアリポジトリ<sup>2</sup>。
- **その他公開情報**：技術ブログ、ホワイトペーパー、カンファレンス議事録<sup>2</sup>、さらには製品ドキュメントや公開ビデオプレゼンテーション<sup>2</sup>。

## 特許データベースの地理的カバレッジ

特許文献（PL）のカバレッジについては、公式には「グローバルな特許データベース」<sup>2</sup>または「世界の特許インテリジェンス」<sup>3</sup>を検索対象とすると主張されています。一部のレビューでは、USPTO（米国）と EPO（欧州）が具体的に言及されています<sup>17</sup>。



しかし、r/Patents の専門ユーザーによる初期テストのフィードバックによれば、「（主に）USPTO のデータを使用し、他の（欧州や日本などの）特許当局については Google Patents に依存しているように見える」<sup>18</sup> との指摘がなされています。この指摘が事実である場合、NPL カバレッジの広範さとは対照的に、特許データベース自体のカバレッジ（特に非米国）の「深さ」や「独自性」については、まだ検証が必要であることを示唆しています。

**表 1：先行技術カバレッジの比較：従来型調査 vs. Perplexity Patents**

先行技術（Prior Art）ソース	従来型調査（手動・分断）	Perplexity Patents (Beta)	関連ソース
特許文献 (PL)			
USPTO (米国)	専門 DB または USPTO/Google Patents で検索 <sup>32</sup>	統合検索（主要対象） <sup>17</sup>	17
EPO (欧州)	専門 DB または Espacenet/Google Patents で検索 <sup>32</sup>	統合検索 <sup>17</sup>	17
WIPO, JPO (その他)	各国 DB または Google Patents で個別検索 <sup>32</sup>	「グローバル」と主張 <sup>2</sup> 。Google Patents 経由の可能性 <sup>18</sup>	2
非特許文献 (NPL)			
学術論文 (arXiv, IEEE 等)	Google Scholar, IEEE Xplore 等で別途検索	シームレスな統合検索	2



ソースコード (GitHub)	GitHub で手動検索 (非常に困難)	シームレスな統合 検索	<sup>2</sup>
技術ブログ/ホワイト トペーパー	Google/Web 検索 エンジンで別途検索	シームレスな統合 検索	<sup>2</sup>
動画/製品ドキュメ ント	Google/YouTube 検 索で別途検索	シームレスな統合 検索	<sup>2</sup>

## NPL 統合の価値と潜在的限界

NPL の統合、特に GitHub<sup>2</sup> や技術ブログ<sup>9</sup> の検索は、ソフトウェアや AI 分野の特許調査において革命的な価値を持つ可能性があります。これらの分野では、イノベーションが（論文や特許よりも先に）オープンソースコードやブログポストとして公開されることが常態化しているためです<sup>13</sup>。従来、これらの NPL の「壁」の向こうに隠されていた先行技術を発見できる可能性は、Perplexity の最も強力なアドバンテージです。

ただし、その NPL カバレッジの「深さ」については懐疑的な見方も必要です。Perplexity は「GitHub を検索する」<sup>2</sup> と主張していますが、その方法論は不明確です。関連資料<sup>(44)</sup> は、*Enterprise* ユーザーが 自身のプライベート GitHub リポジトリを検索するための、認証を必要とする「Github Connector」について説明しています。

このことから、Perplexity Patents（無料ベータ版）における パブリック GitHub 検索は、<sup>44</sup> のような詳細なコードロジックのセマンティック分析ではなく、リポジトリの README ファイルやドキュメント、コミットメッセージなど、テキストベースのメタデータをクロールしているに過ぎない可能性が高いと推測されます。これは「コードの説明」の検索であり、「コードの論理」そのものの検索とは異なるため、両者の間には機能的に大きな隔たりが存在する可能性があります。

## セクション 5：競合環境におけるポジショニング

Perplexity Patents は、既存の特許検索市場において、独自のポジションを確立しようとして

います。

## 対 無料ツール（Google Patents, 各国特許庁 DB）

- **機能的優位性**：自然言語処理（NLQ）、対話型インターフェース、セマンティックな概念検索、そして NPL のシームレスな統合において、Perplexity は従来の無料ツール<sup>1</sup>を明確に凌駕しています。Google Patents が「検索」エンジンであるのに対し、Perplexity は「回答」エンジン（answer engine）<sup>33</sup>として機能し、ユーザーが情報を探す手間を大幅に削減します。
- **潜在的な依存関係**：一方で、セクション 4 で触れたユーザーの指摘<sup>18</sup>が正しければ、Perplexity は（少なくとも米国以外の）主要な特許データソースとして、Google Patents のデータベースに依存している可能性があります。その場合、Perplexity の価値は、独自データベースの提供ではなく、「既存データに対する、より優れた UI/UX および AI レイヤー」の提供にあるということになります。

## 対 専門家向け有料プラットフォーム（Derwent, PatSnap 等）

- **コストとアクセシビリティ**：ベータ期間中は無料<sup>1</sup>であり、Pro 版も比較的安価（年間 \$240 程度<sup>12</sup>）な Perplexity は、年間数千～数万ドル<sup>12</sup>のライセンス料が必要な専門ツール<sup>3</sup>と比較して、圧倒的なコスト優位性を持ちます。
- **専門ツール側の AI による追撃**：既存の専門ツール側も AI の導入を急速に進めています。例えば、競合の Clarivate は「AI Search in Derwent」<sup>14</sup>を発表しており、これは同社が誇る高品質なキュレーション済みデータセット（DWPI）で訓練されているという強力なアドバンテージを持っています<sup>14</sup>。
- **他の AI ネイティブツールとの競合**：Perplexity は「世界初」<sup>3</sup>と主張していますが、AI 特許検索の分野には、すでに専門的な AI ネイティブツールが存在します。例として、オープンソースのセマンティック検索を提供する PQAI<sup>15</sup>、自然言語の発明開示メモから検索が可能な NLpatent<sup>36</sup>、グラフ AI という独自技術を基盤とする IPRally<sup>15</sup>などが挙げられます。

## 市場における現実的な位置づけ

これらの競合分析から、AI 特許検索市場は、以下の 3 つの異なる強みを持つ勢力によって三極化しつつあることがわかります。

1. **インキュメント（既存の強者）**：Clarivate<sup>14</sup> など。強みは「データの質」（例：人手でキュレーションされた DWPI）。AI を「付加機能」として導入。
2. **アクセシビリティ重視（UX）**：Perplexity。強みは「UX と NPL 統合」。非専門家市場の開拓<sup>2</sup>。
3. **AI 技術特化（深さ）**：IPRally<sup>37</sup> など。強みは「独自の AI 技術」（例：グラフ AI）。専門家の特定タスクを深掘り。

この環境下で、Perplexity Patents は、現時点では高価な専門ツールの「代替」とはなり得ません。IP 専門家（弁理士など）は、訴訟や正式な特許出願の根拠となる厳密な調査には、依然として Derwent や PatSnap のような専門ツールが必要であると認識しています<sup>12</sup>。

Perplexity の現時点での最適なユースケースは、R&D の初期段階における「迅速なアイデア検証」、競合他社の動向調査<sup>17</sup>、あるいは専門家による本格的な調査の「前段階」としての「予備調査（preliminary research）」<sup>12</sup>に限定されます。

Perplexity の強みが「AI エージェント」と「NPL 統合」にある一方、そのアキレス腱は「特許データベースの網羅性と信頼性」にある可能性があります。「Google Patents に依存しているのでは？」<sup>18</sup>という指摘が事実であれば、もし Google が自社の Google Patents に Perplexity よりも優れた AI エージェントを統合した場合、Perplexity の優位性（特許文献検索において）は失われる危険性があります。Perplexity の長期的な防衛線は、NPL の網羅的統合<sup>2</sup>と、自社構築の「特許知識インデックス」<sup>1</sup>の独自性にかかっています。

## セクション 6：最重要検討事項：機密保持

### （Confidentiality）とデータプライバシーに関する専門的リスク評価

Perplexity Patents の「評判」を分析する上で、技術的な機能評価以上に重要なのが、機密保持とデータプライバシーに関するリスク評価です。

#### 専門家（ユーザー）の核心的懸念

リリース直後から、専門家コミュニティ（Reddit）が最も強く、かつ即座に表明した懸念は、弁理士や発明者が「未公開の発明アイデア」<sup>6</sup>を検索クエリとして入力した際の機密保持リスクです。

この懸念は、「ドメイン名フロントランニング」<sup>6</sup>という、検索クエリが第三者によって傍受され、即座に利益（ドメイン登録）のために悪用された過去の具体的な事例に基づいています。発明アイデアはドメイン名よりもはるかに経済的価値が高く、同様のリスクは絶対に許容できません。

## Perplexity のデータ取り扱いポリシーの分析

この核心的懸念に対し、Perplexity のデータ取り扱いポリシーを分析すると、プランによってその扱いが根本的に異なることが判明します。

- 無料版・Pro 版（「Services」）：

Perplexity の標準プライバシーポリシー 39 が適用されます。日本語の解説記事 20 は、Perplexity が公式に「学習への利用」を否定している 20 としつつも、入力情報が「外部サーバーに送信される」 20 こと自体がリスクであり、企業の内部情報や未公開データの inputs は「危険」であると明確に警告しています。

さらに、Perplexity の API 利用規約 (43) には、より踏み込んだ記述があります。「検索データ (Search Data)」は「顧客の機密情報ではない (is not Customer's Confidential Information)」と定義され、Perplexity が「製品やサービスの改善・開発を含む合法的なビジネス目的」のために、そのデータを保持・使用できると明記されています。これは、機密性の高い IP 情報を扱う上で、決定的な欠格事由となり得ます。

- Enterprise Pro 版：

これに対し、Enterprise Pro 版は、標準のプライバシーポリシーの対象外であり、明確に異なる扱いを受けます 39。Enterprise 版は SOC 2 Type II 準拠 41 を達成しており、

「Perplexity が顧客データで訓練することは決してない」 41 ことが保証され、データ保持期間も設定可能です 41。

## リスク分析：ビジネスモデルと新たな脅威

この無料/Pro 版と Enterprise 版のデータポリシーの根本的な違い<sup>39</sup>は、Perplexity の明確なビジネスモデルを示唆しています。すなわち、「アクセシビリティ（民主化）」<sup>1</sup>を無料版で

提供して広範なユーザーを獲得し、IP 専門家や企業が業務で利用するために絶対に必要な「機密保持（プライバシーとセキュリティ）」<sup>41</sup>を、高価な Enterprise Pro 版のアップセルとして販売する戦略です。無料版・Pro 版のユーザーは、その利便性の対価として、入力データが（少なくとも「機密情報ではない」<sup>43</sup>とみなされ）潜在的なリスクにさらされることを受け入れなければなりません。

さらに、セクション 2 で指摘された「偽エージェント」への漏洩リスク<sup>6</sup>は、従来の SaaS モデルにはなかった、AI エージェント特有の新しい攻撃ベクトルです。Perplexity の AI エージェントは、NPL（ブログ、GitHub）を検索するために<sup>2</sup>、自律的に外部の Web リソースにアクセスします。その際、アクセス先が悪意を持って設置されたデータ収集サイト（例：「semanticpatentsearch.com」<sup>6</sup>）であった場合、機密性の高い発明の核心部分（「A と B を使った X の方法」）を含むクエリが、意図せず第三者に送信され、窃取される可能性があります。このアーキテクチャは、Perplexity 自体のサーバーが SOC 2 準拠<sup>42</sup>であっても、エージェントがアクセスする外部のセキュリティまでは保証しないという、新たな脅威をもたらしています。

## セクション 7：結論および専門家としての戦略的活用ガイドンス

### Perplexity Patents の「評判」の総括

Perplexity Patents のリリース後の評判は、評価する層によって明確に二分されています。

1. 技術メディアと一般ユーザー層からは、特許調査の複雑な障壁を取り除き、自然言語で IP インテリジェンスにアクセスできる「革新的」で「民主的」なツールとして、非常に高く評価されています<sup>1</sup>。
2. 一方、IP 専門家やセキュリティ意識の高いユーザー層からは、その NPL 統合<sup>2</sup>の可能性に期待が寄せられる一方で、特に無料・Pro 版における「機密保持」<sup>6</sup>および「データプライバシー」<sup>20</sup>に関する重大なリスクが厳しく指摘されています。

### IP 専門家としての戦略的活用ガイドンス

Perplexity Patents は、従来の特許調査ツール（専門 DB、Google Patents）を「代替」するものではなく、現時点では、特定のユースケースにおいてその弱点を「補完」するツール<sup>12</sup>として位置づけるべきです。

以下に、専門家の観点から、その具体的な活用法をリスクレベルに応じて分類します。

### 推奨される利用法（安全な活用法）

- **1. 教育・学習目的**：自身が専門としない技術分野の概要や、主要な特許動向を迅速に把握するための学習ツールとして使用する<sup>13</sup>。
- **2. 非機密情報の調査**：競合他社の公開済み特許ポートフォリオの分析<sup>17</sup>、または既知の公知技術に関する広範な先行技術（NPL を含む）の探索。
- **3. アイデアソン（公開情報ベース）**：既知の学术论文や技術ブログ<sup>2</sup>を起点とした、新しい研究開発テーマのブレインストーミング。
- **4. Enterprise Pro 版での利用**：SOC 2 Type II 準拠とデータ非訓練が保証された<sup>41</sup> Enterprise Pro 版の契約下でのみ、機密性の高い発明の「予備調査」に限定的に使用する。

### 非推奨・厳禁とされる利用法（危険な活用法）

- **1. 【厳禁】未出願・未公開の新規発明に関する調査**：  
Perplexity の無料版、Pro 版において、自社（またはクライアント）の機密性の高い発明アイデア、独自の技術的課題、アルゴリズム、化学配合などをクエリとして入力すること。API 規約 43 に基づき、そのデータは「機密情報ではない」とみなされ、製品改善等に利用される可能性があり、「ドメイン名フロントランニング」<sup>6</sup>や「パテント・トロリング」<sup>6</sup>を誘発する、許容できないリスクを伴います。
- **2. 【非推奨】正式な法的判断の根拠として利用**：  
本ツールは「AI エージェント」<sup>3</sup>によるブラックボックス検索であり、調査の網羅性を担保できず、ハルシネーション（情報の捏造）のリスク<sup>20</sup>も内在します。特許性（Patentability）<sup>28</sup>、侵害予防（FTO）<sup>17</sup>、または無効性（Invalidity）<sup>26</sup>に関する最終的な法的意見の唯一の根拠として使用すべきではありません。



## 今後の展望

Perplexity Patents は、特許調査のアクセシビリティを劇的に高める画期的なツールであることは間違いありません。しかし、ベータ版<sup>3</sup>から脱却し、IP 専門家の信頼を勝ち取るためには、NPL カバレッジの透明性（例：GitHub のどのレベルまで検索しているか）、特許データベースの網羅性（Google Patents への依存度）、そして何よりも、無料・Pro ユーザーの機密情報に対する厳格な保護ポリシーの確立が不可欠です。

## 引用文献

1. Perplexity's new AI tool lets you search patents with natural language - and it's free | ZDNET, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.zdnet.com/article/perplexitys-new-ai-tool-lets-you-search-patents-with-natural-language-and-its-free/>
2. Perplexity Patents: Revolutionizing Intellectual Property Research with AI - Medium, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://medium.com/@CherryZhouTech/perplexity-patents-revolutionizing-intellectual-property-research-with-ai-fb92d815c6b2>
3. Introducing Perplexity Patents: AI-Powered Patent Search for Everyone, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/hub/blog/introducing-perplexity-patents>
4. Perplexity Patents: World's First AI Patent Research Agent- Harshit Kumar, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://kumarharshit.in/perplexity-patents-ai-patent-research-agent-free-beta/>
5. Perplexity、AI 特許リサーチエージェントを発表 | 天秤 AI メディア byGMO, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://tenbin.ai/media/generative-ai/AI-NEWS-251031>
6. Today we're launching Perplexity Patents, the world's first AI patent research agent that makes IP intelligence accessible to everyone : r/perplexity\_ai - Reddit, 11月 9, 2025 にアクセス、  
[https://www.reddit.com/r/perplexity\\_ai/comments/1ok0cio/today\\_were\\_launching\\_perplexity\\_patents\\_the/](https://www.reddit.com/r/perplexity_ai/comments/1ok0cio/today_were_launching_perplexity_patents_the/)
7. Aravind Srinivas introduces 'Perplexity Patents', an AI-powered patent research tool: Who can use it and how it works | Mint, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.livemint.com/technology/tech-news/aravind-srinivas-introduces-perplexity-patents-an-ai-powered-patent-research-tool-who-can-use-it-and-how-it-works-11761879026339.html>
8. Perplexity launches AI-powered patent search to make innovation intelligence accessible, 11月 9, 2025 にアクセス、  
<https://dig.watch/updates/perplexity-launches-ai-powered-patent-search-to-make-innovation-intelligence-accessible>



9. How Perplexity Patents Is Democratizing AI-Powered Patent Research | Joshua Berkowitz, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://joshuaberkowitz.us/blog/news-1/how-perplexity-patents-is-democratizing-ai-powered-patent-research-1657>
10. Reinventing Innovation: How Perplexity's AI Is Democratizing the Patent Race, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://resident.com/tech-and-gear/2025/11/06/reinventing-innovation-how-perplexitys-ai-is-democratizing-the-patent-race>
11. Perplexity Patents: How The Patent Research AI Agent Works, Who Can Use - NDTV Profit, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.ndtvprofit.com/technology/perplexity-patents-how-the-patent-research-ai-agent-works-who-can-use>
12. Perplexity Launches AI Patent Search Engine - Game Changer for Inventors, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.thepromptbuddy.com/prompts/perplexity-launches-ai-patent-search-engine-game-changer-for-inventors>
13. Perplexity Patents の AI 特許検索 – 調査レポート, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/bae677ee9d6ef591661d.pdf>
14. Clarivate Launches AI-Powered Patent Search Solution in Derwent, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://clarivate.com/news/clarivate-launches-ai-powered-patent-search-solution-in-derwent/>
15. 13 AI Patent Search Tools You Shouldn't Ignore in 2025 - Saastake, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://saastake.com/top-ai-patent-search-tools/>
16. Perplexity's Latest AI Tool Makes Patent Research Less Tedious - PCMag, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.pcmag.com/news/cant-find-patents-perplexity-rolls-out-new-ai-patent-research-tool>
17. Perplexity Patents — The Free AI Tool That Lets You Search Innovation Like a Pro, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://juliangoldie.com/perplexity-patents/>
18. Perplexity announced Patent Search - Reddit, 11 月 9, 2025 にアクセス、 [https://www.reddit.com/r/Patents/comments/lok4ydp/perplexity\\_announced\\_patent\\_search/](https://www.reddit.com/r/Patents/comments/lok4ydp/perplexity_announced_patent_search/)
19. Patents and Patent Law - Reddit, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.reddit.com/r/Patents/new/>
20. Perplexity は本当に安全？ハルシネーションの仕組み・事例・対策を徹底解説 - AI 経営総合研究所, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://ai-keiei.shift-ai.co.jp/perplexity-hallucination/>
21. Perplexity、すべてのユーザー向けに AI 駆動の特許検索ツールを発表 執筆, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://jp.investing.com/news/company-news/article-93CH-1302167>
22. Perplexity launches AI-powered patent search tool for all users - Investing.com, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.investing.com/news/company-news/perplexity-launches-ai-powered-patent-search-tool-for-all-users-93CH-4320506>
23. Compare Google Patents vs. Perplexity Patents in 2025 - Slashdot, 11 月 9, 2025

- にアクセス、 <https://slashdot.org/software/comparison/Google-Patents-vs-Perplexity-Patents/>
24. Google Patents vs. Perplexity Patents Comparison - SourceForge, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://sourceforge.net/software/compare/Google-Patents-vs-Perplexity-Patents/>
  25. Get Started with Perplexity, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.perplexity.ai/spaces/get-started-with-perplexity-EHFVpn8kS6iSDUmSLCSERG>
  26. Remediating Error: Addressing Medication Adherence Errors at the Intersection of Healthcare Insights and Industry 4.0, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://research-repository.rmit.edu.au/ndownloader/files/57175172>
  27. AI for Efficient Patent Mining and Analysis - Lumenci, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://lumenci.com/blogs/ai-efficient-patent-mining-analysis/>
  28. Udemy For Business Course List | PDF | Sustainability | Supply Chain Management - Scribd, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.scribd.com/document/821166664/Udemy-for-Business-Course-List>
  29. Perplexity Launches Perplexity Patents: An AI-Powered Patent Search Engine - C# Corner, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.c-sharpcorner.com/news/perplexity-launches-perplexity-patents-an-ai-powered-patent-search-engine>
  30. Perplexity launches 'Perplexity Patents' for AI-led patent research - YourStory.com, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://yourstory.com/ai-story/perplexity-patents-ai-led-research>
  31. Perplexity's Latest AI Tool Makes Patent Research Less Tedious - PCMag Australia, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://au.pcmag.com/ai/113999/cant-find-patents-perplexity-rolls-out-new-ai-patent-research-tool>
  32. Search for patents - USPTO, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.uspto.gov/patents/search>
  33. Perplexity Patents: the world's first AI patent research agent - Chat GPT Is Eating the World, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://chatgptiseatingtheworld.com/2025/10/31/perplexity-patents-the-worlds-first-ai-patent-research-agent/>
  34. Perplexity Patents: Free AI Tool for Easy Patent Search in 2025 : r/aicuriosity - Reddit, 11 月 9, 2025 にアクセス、 [https://www.reddit.com/r/aicuriosity/comments/lojzu4o/perplexity\\_patents\\_free\\_ai\\_tool\\_for\\_easy\\_patent/](https://www.reddit.com/r/aicuriosity/comments/lojzu4o/perplexity_patents_free_ai_tool_for_easy_patent/)
  35. Perplexity launches AI-powered patent search tool for all users - Investing.com, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://in.investing.com/news/company-news/perplexity-launches-ai-powered-patent-search-tool-for-all-users-93CH-5074011>
  36. Top 13 AI-based Patent Search Databases for 2026 - GreyB, 11 月 9, 2025 にアクセス、 <https://www.greyb.com/blog/ai-based-patent-databases/>

37. A complete list of AI patent tools in 2025 - Patenttext, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.patenttext.com/blog-posts/a-complete-list-of-ai-patent-tools>
38. Is Your AI Assistant Sharing Too Much? A Deep Dive into Perplexity AI's Data Privacy Settings | Andrew McPherson, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://andymcpherson.com/blog/blog-post-003>
39. Privacy Policy - Perplexity, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/hub/legal/privacy-policy>
40. Perplexity Terms of Service, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/hub/legal/terms-of-service>
41. Perplexity Enterprise for Law, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/enterprise/use-cases/legal>
42. How Perplexity Enterprise Pro Keeps Your Data Secure, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/hub/blog/how-perplexity-enterprise-pro-keeps-your-data-secure>
43. API Terms of Service - Search Service - Perplexity, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/hub/legal/perplexity-api-terms-of-service-search>
44. Github Connector for Enterprise | Perplexity Help Center, 11 月 9, 2025 にアクセス、  
<https://www.perplexity.ai/help-center/en/articles/12275669-github-connector-for-enterprise>